

福井県ビジネス支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度	H33 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]									
[事業目的]												
<p>東京・南青山にある県有地を活用して、ビジネス支援等拠点を整備することにより、首都圏における県内中小企業のビジネス支援、多様な人材の確保、本県の魅力ある情報発信等のための事業を展開する。</p> <p>銀座1丁目にある291サテライトショップ「食の國 福井館」において、「福井の食」を首都圏消費者にPRする。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 県有地の貸付と建物の借受 東急不動産(株)に対し、東京・南青山の県有地を事業用借地権により貸し付け、当該地に東急不動産が建設する建物の一部をビジネス支援拠点として借り受ける。</p> <p>①土地 面積1996.7㎡ 契約期間：平成13年10月16日～平成33年10月15日 ②建物 面積1000.0㎡ 契約期間：平成14年4月1日～平成33年8月15日 (建物の一部転貸 相手方：株式会社第一望洋楼 契約期間：平成24年4月1日～平成33年8月15日)</p> <p>(2) ビジネス支援等拠点としての事業展開 ・情報ライブラリーでの情報提供・相談、Uターン業務 ・1階での県産品展示販売 ・2階ホールの貸出 ・ビジネスサポートセンターの運営</p> <p>(3) 銀座サテライトショップ「食の國 福井館」の管理運営 (4) 銀座移転候補地の調査、南青山の土地利活用を含めたアンテナショップのあり方検討</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		275,978	220,095	224,521	223,889	230,481	225,854	225,854				
2月現計予算額の推移		275,978	223,001	226,553	227,562							
決算額の推移		251,287	221,951	226,051								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	売上額(千円)	(目標)	(170,000)	(280,000)	(320,000)	(320,000)	(330,000)	(340,000)	(350,000)	30年度まで売上前年比増		
		実績	172,928	260,223	282,118							
活動指標	開館日数	(目標)	(353)	(355)	(355)	(355)	(355)	(355)	(355)	年末年始休館(ふくい南青山291はお盆も休館)		
		実績	353	355	355							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		事業主体		県		
予算額	230,481			(財産収入) (諸収入)	133,411	97,070		事業実施方法		委託		
								補助率				

事業評価

事業名	福井県ビジネス支援センター運営事業	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>ふくい南青山291において、新商品のテスト販売を含め、食品から工芸品まで福井の特色ある商品を積極的に展示・販売するとともに、店舗外での催事販売や多目的ホールを活用した展示会開催等を支援し、首都圏における本県企業のビジネスの拠点としての役割を果たしている。</p> <p>「食の國 福井館」においては、福井の食の魅力の情報発信・販売力を強化しており、今後も首都圏において、販路拡大を図っていく。</p> <p>また、食の國 福井館については、より集客や売上が見込める移転先がないかの調査を実施するとともに、南青山県有地の賃貸借契約については、平成33年度までとなっていることから、県有地の利活用を含めて、平成33年度以降のアンテナショップのあり方について検討をする必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内企業				650社				
他県の状況	本県を含めて37道県が首都圏においてアンテナショップ運営			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	市町と連携したフェアの開催 (平成27年度 福井市、坂井市、勝山市、南越前町)			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
【ふくい南青山291】(平成27年12月まで) 来客数 137,815人(前年比110%) 売上げ 134,800千円(前年比115%) 【食の國 福井館】(平成27年12月まで) 来客数 178,100人(前年比144%) 売上げ 114,306千円(前年比123%) うちテレビTVを活用した鮮魚・野菜の販売額 499千円(平成27年12月まで)		・来客数、売上のさらなる向上を図ることを目標に、多目的ホールを活用した自主催事等を実施する。 ・TV電話を活用した鮮魚、野菜の販売事業については、平日の定期的な開催から、イベント時の開催に変更し、運営委託料の中で実施する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくいの食品都市圏進出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			〔福井経済新戦略、ふくい創生・人口減少対策戦略〕				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
[事業目的]												
都市圏で売れる食品等の商品開発や販路開拓を支援し、商品を通じて県の知名度を高めるとともに、中小企業の売上拡大を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 都市圏で売れる食品の商品開発・改良 都市圏でのニーズを把握している百貨店バイヤー等による商品開発、商品改良および専門家のネットワークを使ったビジネスマッチング等での販路開拓を支援（支援対象数 10社）</p> <p>(2) 都市圏を中心とした県外への販路開拓支援 既存商品等の県外への販路を広げるため、大手食品卸商社等との商談会の開催や展示会への参加を支援</p> <p>①商談会の開催（年1回） 食品専門商社の担当バイヤーを招へいした商談会を開催</p> <p>②展示会の出展支援（年2回） 食品専門商社等が業界関係者向けに開催するプライベート展示会</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					9,696	8,921	8,921		専門家への委託料の見直しによる減。			
2月現計予算額の推移					9,696							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	売上額 (目標) 実績				(3,000)	(6,000)	(8,000)		売上前年比増			
活動指標	支援事業者数 (目標) 実績				(10)	(10)	(10)					
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、(公財)ふくい産業支援センター					
予算額	8,921			(諸収入) 1,500	7,421	事業実施方法	上記の事業内容(1)は委託、(2)は補助					
						補助率	10/10					

事業評価

事業名	ふくいの食品都市圏進出支援事業	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>・福井国体、北陸新幹線開業を控え、都市圏で売れる食品、商品を通じて福井の知名度を高めていくことが必要。 ・中小企業では、優れた商品を持っていても、都市圏への販路開拓のための具体的な方法が分からなかったり、人的、経費的な問題から実施できないことがあるため、都市圏でのニーズを把握している専門家等による支援を実施する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内事業者				50社			
他県の状況	<p>・近県（石川県、富山県）においては、専門家による商品開発から販路開拓までの支援や食品専門商社との商談会等は実施していない。</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名			
			(実績)		—		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		事業名			
	(役割分担)				・事業者への当該事業の募集案内の広報を依頼		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<p>平成27年度は、県内企業21社に対し、都市圏のニーズを把握する専門家による商品開発、改良、販路開拓等を支援。 また、食品専門商社による販路開拓により45万円を売上げた。</p>		<p>・都市圏に向けた販路開拓について、県において引続き、開発から販路開拓までを一体的に支援する。 ・食品専門商社との商談会を新たに（公財）ふくい産業支援センターにおいて実施し、多くの県内商品を知ってもらい、都市圏での販路開拓につなげていく。 ・専門家への委託料を見直す。</p>		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 12
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくいの商業者魅力アップ支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H24 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 []				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
飲食店などの県外一流店で修業した者の県内での起業支援や県外一流店での修業支援を通して、県内商業者のレベルアップにつなげる。												
[事業内容]												
<p>(1) 県外一流店修業者の県内開業支援（H26年度まで） 県外一流店で修業した経験を有する商業者の県内での開業を支援し、レベルの高い技術や豊富な知識を持った人材の県内誘致を図る。 ・ 出店費用 補助率 1 / 3（限度額 500 万円）</p> <p>(2) 県外への修業支援（新規採択は H26 年度まで） 県内就業者の県外一流店での修業を支援し、店舗経営のノウハウ取得や技術力向上を図る。 ・ 家賃相当額の 1 / 2 限度額 5 万円 / 月（最大 3 年間）</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		12,400	12,400	13,216	1,469	474	354		県外修業の支援について、平成 27 年度 4 名支援から、平成 28 年度は 3 名支援となった。			
2 月現計予算額の推移		10,900	12,400	1,817	1,469							
決算額の推移		10,554	11,214	1,230								
[成果指標等の推移]												
区 分		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	魅力店舗の創出	(目標) 実績	(2) 2	(2) 2	(2) 0	(-) -	(-) -	(-) -	毎年度 2 件			
	県外一流店の修業者	(目標) 実績	(3) 1	(3) 3	(3) 2	(-) -	(-) -	(-) -				
活動指標	審査会の開催	(目標) 実績	(1) 1	(1) 2	(1) 1	(-) -	(-) -	(-) -	支援者決定にあたり審査会を開催			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県外修業者				
予算額	474				474	事業実施方法		補助				
						補助率		1/2				

事業評価

事業名	ふくいの商業者魅力アップ支援事業	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
[事業の必要性・要求の背景]							
北陸新幹線の県内延伸をふまえ、これから県内外から各地域への来街者の増加が見込める中、県内個店の魅力を高め、地域商業の活性化を図る必要がある。							
[受益者] 県外修業者				[想定される受益者数] 3者			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
県内外に事業PRを図り広く募集した結果、3年間で県内開業は4名、県外修業は延べ6名の支援を実現した。県外有名店での修業経験者の開業を支援し魅力的な店舗を創出した。 27年度は、県外修業者の継続支援として、4名支援した。		県外修業の支援について、平成27年度4名支援から、平成28年度は3名支援となった。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 995
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

おもてなし商業エリア創出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H24 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
		政 策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金			
関連する県の計画等		[福井経済新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他			
[事業目的]											
<p>市町等が行う中心市街地において地域の特色を活かしたにぎわいや交流を創出する商業ゾーンを形成するための活動および県内商業者の魅力ある個店づくり（改修、新規開業）を支援し、県内外からの誘客を促進する。</p>											
[事業内容]											
<p>(1) ハード整備等に対する支援</p> <p>① 県がまちづくりを進める地域への外部専門家の派遣（31,314千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 市町等（補助率 県1/2、市町1/2） <p>② 個店のリノベーション・新築に対する助成（46,500千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 市町（補助率 県1/4、市町1/4 [対象事業費 200～600万円]） ・対象地域 20店舗以上の商業店舗があり菓子店等・飲食店・旅館が5割以上占める地域 ・補助要件 a. ①の外部専門家を利用してまちづくり計画を策定すること、b. 概ね10店舗以上の菓子店等・飲食店・旅館の改修計画があること <p>③ 個店のリノベーション・新築、地域資源を活用した新商品開発に対する融資</p> <p>(2) ソフト事業に対する支援（21,567千円）</p> <p>中心市街地において地域の特色を活かしたにぎわいや交流を創出する新たな商業ゾーンの形成に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 まちづくり会社、商工会議所、市町等（補助率 県1/3～3/4（店舗賃借料1/3、備品購入1/2、広告宣伝費3/4等）） ・対象地域 中心市街地内の区域 ・補助限度額 12,000千円/3か年 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移	14,224	20,895	66,679	116,218	99,381	51,964	38,099	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備等に対する支援については、平成27年度新規プラン採択の減による専門家派遣および個店改修件数の減。 ・ソフト事業に対する支援については、平成27年度採択分の事業計画に合わせて減。 			
2月現計予算額の推移	2,189	4,070	26,224	37,882							
決算額の推移	2,104	3,558	11,770								
[成果指標等の推移]											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	通行量伸び率 (目標)	(1.03)	(1.06)	(1.07)	(1.07)			対基準年通行量比(28年度以降は28年度採択内容により設定)			
	実績	1.09	1.85	1.26							
活動指標	個店の改修・新築数 (目標)	(-)	(-)	(15)	(32)	(31)	(19)	(15)	改修件数		
	実績	-	-	0							
活動指標	プランの策定数(ソフト) (目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(-)	(-)	毎年度1プラン		
	実績	1	1	1	1						
活動指標	プランの策定数(ハード) (目標)	(-)	(-)	(3)	(3)	(3)	(-)	(-)	毎年度3プラン		
	実績	-	-	3	2						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		市町等			
予算額	99,381				99,381	事業実施方法		補助			
						補助率		県・市町1/2,1/4(ハード) 県1/3～3/4(ソフト)			

事業評価

事業名	おもてなし商業エリア創出事業	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>北陸新幹線の県内延伸や福井国体、東京オリンピックの開催を踏まえ、県内外からの誘客を促進するため、中心市街地において地域の特色を活かした新たな商業エリアの創出を図る必要があるため。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>事業者、まちづくり会社等</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>100社</p>			
他県の状況	<p>◀石川県▶商業活性化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が賑わい創出など地域の活性化に向け企画・立案した事業を支援する。(県1/3、市町1/3、事業者1/3 上限100万円) 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業についてはプラン認定申請時に市町意見を提出するなど、市町と連携した事業展開を図る。 ・ハード整備等については、市町の補助事業であることから、市町と協議しながら進めていく。 				
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<p>(平成27年度1月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個店改修実績5件 ・プランの策定数はソフト1件、ハード2件となっている。 ・ソフト事業については事業実施によりイベント来場者数の増加など、賑わいにつながっている。 ・ハード事業については、今後個店改修を進めていくことにより賑わいの創出が見込まれる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・プラン認定市町に対して個店改修を進めるよう働きかけるとともに、28年度新規認定市町については目標指標を達成できるよう、各市町に事業説明等行っていく。 ・ハード整備等に対する支援については、平成27年度新規プラン採択の減による専門家派遣および個店改修件数の減。 ・ソフト事業に対する支援については、平成27年度採択エリア分の予算額を当該エリアの事業計画に合わせて減。 		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額 △ 16,837

“ふくいのとっておき” フードフェア開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業 政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略、ふくい創生・人口減少対策戦略]									
[事業目的]												
ふくいの特色を活かした商品や隠れた名店の商品（“ふくいのとっておき”）等の県内外への販路拡大を促進するため、各商品等を販売するフェアを開催する。												
[事業内容]												
<p>フードフェアの開催（秋ごろ）</p> <p>（１）地元食材をテーマに隠れた名店の商品を販売 とみつ金時のお菓子、伝統野菜を使った惣菜など</p> <p>（２）西武福井店の６階催事場や地階食品売り場を活用 地元食材を使った商品を集めたフェアや体験イベントなどの開催</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					9,504	9,504	9,504					
2月現計予算額の推移					9,298							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	期間中入場者数	(目標)			(60,000)	(62,000)	(65,000)		前事業と比べ、開催期間を前年度と変更したため期間中の入場者数は減少したが、前年度の同時期入場者数と比較すると増加している。			
		実績			54,024							
活動指標	県外への販路拡大件数	(目標)			(3)	(3)	(3)		毎年度3件（県外西武店との取引等の件数）			
		実績			3							
活動指標	出店者数	(目標)			(45)	(47)	(50)		出店者の前年比増を目指す			
		実績			72							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	9,504				9,504	事業実施方法	委託					
						補助率						

事業評価

事業名	“ふくいのとっておき”フードフェア開催事業	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
[事業の必要性・要求の背景]							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国に展開する百貨店を通じた県産品の販路開拓が必要であり、フェアによる商品のPRの機会を設け、販路拡大を図る。 ・ 中心市街地の活性化が必要であり、福井駅前において実施されている「まちフェス」や「美のまちプロジェクト」などと連携していく。 							
[受益者]				[想定される受益者数]			
福井駅前商店街、県内小売店				415社			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふるさと”逸品”フェスタ (実績) H22～26年にふるさと”逸品”フェスタを開催。平均で、売上1,412万円、来場者数57,372人、出展事業者数44件。 H25年に初出展した3社が催事後継続して西武と取り引きを開始。 H26年に伝工芸品の職人による「七人の侍」が初めて西武でオリジナル商品の展示販売を実施。その後、西武の常設売り場にて商品の販売を開始。				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい味の週間 (役割分担) 食を「学び」「味わい」「楽しむ」活動を展開し、福井の食の魅力を見つめ直し、食を大切にする意識を高める。		市町との連携状況	—			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
「お菓子」をテーマにイベントを実施 出展者のうち約6割が新規出展者 ・ 入場者数約5万4千人 ・ 出店者数72者		地元食材の活用をテーマにイベントを実施予定		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

金融貸付制度（前向き制度）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 S33 年度 経過年数 59 年	事業終了 予定年度	一 年度
		政 策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
[事業目的]											
<p>中小企業の多様な資金需要に対応し、最近の社会経済情勢の変動に耐え得る企業体質を形成するため、産業活性化支援資金やオープンイノベーション支援資金、開業支援資金などにより、中小企業の経営安定と高度化の促進に必要な資金を貸し付け、中小企業金融の円滑化を図る。</p>											
[事業内容]											
<p><資金貸付></p> <p>①産業活性化支援資金（融資枠88億円） 融資期間：設備15年以内（据置1年以内）、運転7年以内（据置1年以内） 限度額：1億5,000万円（うち運転資金8,000万円）</p> <p>②オープンイノベーション支援資金（融資枠10億円） 融資期間：設備15年以内（据置1年以内）、運転7年以内（据置1年以内） 限度額：1億5,000万円（うち運転資金8,000万円）</p> <p>③開業支援資金（融資枠12億円） 【無担保の場合】融資期間：設備7年以内（据置1年以内）、運転5年以内（据置1年以内）、限度額：2,500万円 【有担保の場合】融資期間：設備10年以内（据置1年以内）、運転7年以内（据置1年以内）、限度額：1億円</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		3,377,930	3,033,860	3,195,110	3,242,390	3,313,990	3,413,225	3,413,225			
2月現計予算額の推移		1,500,501	932,750	846,620	893,275						
決算額の推移		1,344,380	815,850	640,490							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								貸付金であり、成果指標の設定は困難		
活動指標	融資実行額	(目標) 実績	831,830	844,630	916,490				貸付金であり、目標の設定は困難		
	融資件数	(目標) 実績	49	46	50				貸付金であり、目標の設定は困難		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	3,313,990			(諸収入) 3,313,990		事業実施方法	預託				
						補助率	預託 (1/5、1/3)				

事業評価

事業名	金融貸付制度（前向き制度）	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>新分野進出や新商品開発等の経営のレベルアップを図る場合や新たに事業を開始する場合に必要な資金を貸し付けることにより、意欲的な中小企業者の取り組みを促進し、本県産業の活性化や地域経済の発展を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内中小企業者				30,626社 経済産業省公表「中小企業・小規模事業者数 2014.7時点」				
他県の状況	全都道府県において同様の資金貸付実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	市町において、類似の資金貸付を実施しており、中小企業者の資金調達時の選択肢を広げている。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
景気低迷に伴う先行き不透明感により、全体的に資金需要が低迷する中、一定の利用がなされている。 (平成27年度1月末時点の前年同期比 実行額105.3%)		前向きな取組みを行う企業の資金調達を支援し、地域経済の活性化を図るため、ものづくりや革新的な商品開発等の取組みを行う中小企業者を対象とした資金を新たに創設する。また、設備更新を対象とした資金は廃止する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

金融貸付制度（セーフティネット制度）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 S33 年度 経過年数 59 年	事業終了 予定年度 — 年度	
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
							<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
[事業目的]											
<p>中小企業の多様な資金需要に対応し、最近の社会経済情勢の変動に耐え得る企業体質を形成するため、経営安定資金や中小企業再生支援資金などにより、中小企業の経営安定と高度化の促進に必要な資金を貸し付け、中小企業金融の円滑化を図る。</p>											
[事業内容]											
<p><資金貸付></p> <p>①経営安定資金（融資枠150億円） 融資期間：設備・運転7年以内（据置1年以内） 限度額：8,000万円</p> <p>②関連倒産防止資金（融資枠3億円） 融資期間：運転5年以内（据置6か月以内） 限度額：8,000万円（売掛債権等の範囲内）</p> <p>③中小企業再生支援資金（融資枠10億円） 融資期間：10年以内（据置1年以内） 限度額：8,000万円</p> <p>④資金繰り円滑化支援資金（融資枠150億円） 融資期間：10年以内（据置1年以内） 限度額：8,000万円</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		43,848,530	39,980,530	37,509,900	22,557,160	18,068,060	20,380,610	20,380,610			
2月現計予算額の推移		34,302,170	24,675,770	17,871,130	14,474,320						
決算額の推移		27,781,460	17,461,250	12,214,120							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								貸付金であり、成果指標の設定は困難		
活動指標	融資実行額	(目標) 実績	14,567,558	10,176,947	4,379,122				貸付金であり、目標の設定は困難		
	融資件数	(目標) 実績	892	542	209				貸付金であり、目標の設定は困難		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	18,068,060			(諸収入) 18,068,060		事業実施方法	預託				
						補助率	預託 (1/5)				

事業評価

事業名	金融貸付制度（セーフティネット制度）	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>社会経済環境の変化等により、一時的な業況、資金繰りの悪化など経営の安定に支障を来している中小企業者や経営の再建を図る中小企業者に対し、必要な資金を貸し付けることにより、中小企業者の経営の安定を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内中小企業者				30,626社 経済産業省公表「中小企業・小規模事業者数 2014.7時点」			
他県の状況	全都道府県において同様の資金貸付実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	市町において、類似の資金貸付を実施しており、中小企業者の資金調達時の選択肢を広げている。		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
売上の減少等により経営の安定に支障が生じている中小企業を対象としたセーフティネット資金の利用は、件数・金額ともに減少傾向。 (平成27年度1月末時点の前年同期比 実行額103.3%)		売上や利益が落ち込んだままの中小企業の資金繰りを支援するため、資金繰り円滑化支援資金の要件緩和を行う。 【変更前】売上高等が前年と比べて3%減少 →【変更後】売上高等が平成19年以降のいずれかの年と比べて3%減少		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

金融貸付制度（一般的な制度）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	S33 年度 経過年数	事業終了 予定年度	一 年度
		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]		<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金					
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]		<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> その他					
<p>[事業目的]</p> <p>中小企業の多様な資金需要に対応し、最近の社会経済情勢の変動に耐え得る企業体質を形成するため、中小企業育成資金（一般）などにより、中小企業の経営安定と高度化の促進に必要な資金を貸し付け、中小企業金融の円滑化を図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p><資金貸付></p> <p>①中小企業育成資金（一般）（融資枠100億円） 融資期間：設備7年以内（据置1年以内）、運転5年以内（据置6か月以内） 限度額：8,000万円</p> <p>②中小企業育成資金（小口）（融資枠30億円） 融資期間：設備7年以内（据置1年以内）、運転5年以内（据置6か月以内） 限度額：1,250万円（既存の保証協会の保証付き融資残高を含む）</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,682,610	1,703,770	1,710,810	1,702,150	1,696,570	1,702,360	1,702,360				
2月現計予算額の推移		1,116,787	1,128,150	1,122,880	1,122,197							
決算額の推移		1,088,430	1,107,300	1,105,920								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								貸付金であり、成果指標の設定は困難			
活動指標	融資実行額	(目標) 実績	4,224,297	3,537,240	3,365,490				貸付金であり、目標の設定は困難			
	融資件数	(目標) 実績	525	400	343				貸付金であり、目標の設定は困難			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,696,570			(諸収入) 1,696,570		事業実施方法	預託					
						補助率	預託 (1/10、1/5)					

事業評価

事業名	金融貸付制度（一般的な制度）	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>中小企業者が必要な事業資金を貸し付けることにより、経営の合理化を促進し、中小企業者の経営の安定および振興を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内中小企業者				30,626社 経済産業省公表「中小企業・小規模事業者数 2014.7時点」			
他県の状況	全都道府県において同様の資金貸付実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	市町において、類似の資金貸付を実施しており、中小企業者の資金調達時の選択肢を広げている。		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
景気低迷に伴う先行き不透明感により、全体的に資金需要が低迷する中、一定の利用がなされている。 (平成27年度1月末時点の前年同期比 実行額62.2%)		経営環境の変化や他資金の制度（融資条件）変更等により、一般資金の利用実績は大きく変動することが想定されるため、28年度も融資に支障が出ることはないよう、十分な融資枠（27年度と同額）を確保する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

金融貸付制度（利子補給補助金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	一 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]									
[事業目的]												
<ul style="list-style-type: none"> ・新事業・新サービスに取り組む中小企業を対象にした産業活性化支援資金（設備資金）への利子補給により、雇用拡大を伴う更なる設備投資を促進し、県内経済の活性化を図る。 ・規模が小さく信用力の乏しい県内小規模事業者を対象にしたマル経資金への利子補給により、社会経済情勢の変動による不安定要素を抱える県内小規模事業者の資金繰り支援を図る。 												
[事業内容]												
<p>○産業活性化支援資金（設備資金）利子補給（新規支援はH27年度まで） 補給率：1.0% 期 間：融資を受けた日から3年間</p> <p>○小規模事業者経営改善資金利子補給 補給率：0.5% 期 間：融資を受けた日から2年間 (ただし、初めて利子補給を利用する者、または、借換え充当分を除く新規の借入れ分を対象とする)</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		48,956	55,289	53,827	43,807	42,992	56,163	56,337				
2月現計予算額の推移		43,077	43,510	41,598	31,531							
決算額の推移		42,753	43,503	41,598								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								貸付金の貸付に伴って実施されるものであり、成果指標の設定は困難			
活動指標	融資実行額 (目標) 実績	3,494,310	3,880,440	4,125,380					貸付金の貸付に伴って実施されるものであり、目標の設定は困難			
	融資件数 (目標) 実績	745	692	665					貸付金の貸付に伴って実施されるものであり、目標の設定は困難			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	42,992				42,992	事業実施方法	補助					
						補助率	補助 (0.5%相当分、1.0%相当分)					

事業評価

事業名	金融貸付制度（利子補給補助金）	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
[事業の必要性・要求の背景]							
<ul style="list-style-type: none"> ・新事業・新サービスに取り組む中小企業を対象にした産業活性化支援資金（設備資金）への利子補給により、雇用拡大を伴う更なる設備投資を促進し、県内経済の活性化を図る。 ・規模が小さく信用力の乏しい県内小規模事業者を対象にしたマル経資金への利子補給により、社会経済情勢の変動による不安定要素を抱える県内小規模事業者の資金繰り支援を図る。 							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内中小企業者				30,626社 経済産業省公表「中小企業・小規模事業者数 2014.7時点」			
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の都道府県を除いて同様の利子補給制度実施（産業活性化支援資金） ・新潟県が利子補給制度を実施（マル経融資） 	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	市町において、類似の補助制度を実施しており、中小企業者の資金調達時の負担を軽減している。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・新事業・新サービスに取り組む中小企業を対象にした産業活性化支援資金（設備資金）については件数、融資金額ともに減少している。新事業展開に対する設備投資の動きについても依然として弱い状況にある。 ・小規模事業者を対象としたマル経資金の融資実行件数、融資金額は、ともに前年度上回る実績で推移しており、小規模事業者の資金需要は依然として高い状況にある。 		産業活性化支援資金（設備資金）利子補給については、新規支援をH27年度までとする。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

金融貸付制度（保証料補給・損失補償）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 S43 年度 経過年数 49 年	事業終了 予定年度	一 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]		<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
			[福井経済新戦略]		<input type="checkbox"/> その他		■ その他				
[事業目的]											
経営革新等に取り組む企業等の支援または企業の連鎖倒産防止のため、中小企業者を対象とした資金に対して保証料補給等を行い、本県の産業の発展、維持を図る。											
[事業内容]											
<p>以下の資金貸付に付随して実施する保証料補給等</p> <p><保証料補給>（政策誘導）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業育成資金（企業の子育て奨励分、企業の女性活躍推進分） ・ 関連倒産防止資金 ・ 経営安定資金（セーフティネット保証支援分、為替変動対策分） ・ 開業支援資金（おもてなし産業支援分、保証料補給対象分） ・ 産業活性化支援資金（新事業展開等支援分、県外・海外販路開拓支援分、おもてなし産業支援分） <p><損失補償></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連倒産防止資金 ・ 中小企業再生支援資金 											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		221,267	145,057	148,796	154,388	177,216	178,864	178,864			
2月現計予算額の推移		157,971	130,147	108,409	87,010						
決算額の推移		111,703	72,317	40,381							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								貸付金の貸付に伴って実施されるものであり、成果指標の設定は困難		
活動指標	保証料補給額	(目標) 実績	86,083	57,600	39,744				貸付金の貸付に伴って実施されるものであり、目標の設定は困難		
	保証料補給件数	(目標) 実績	4,113	2,339	1,353				貸付金の貸付に伴って実施されるものであり、目標の設定は困難		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	177,216				177,216	事業実施方法	補助				
						補助率	補助 (1/3、1/2、全額 補給)				

事業評価

事業名	金融貸付制度（保証料補給・損失補償）	部局名	産業労働部	課名	商業振興・金融課	課長名	藤井哲哉	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>経営革新等に取り組む企業等の支援または企業の連鎖倒産防止のため、中小企業者を対象とした資金に対して保証料補給等を行い、本県の産業の発展、維持を図る。</p>								
<p>[受益者]</p> <p>県内中小企業者</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>30,626社 経済産業省公表「中小企業・小規模事業者数 2014.7時点」</p>				
他県の状況	一部の都道府県を除き保証料補給等実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	市において類似の資金貸付およびこれに付随して保証料補給を実施しており、中小企業者の資金調達時の選択肢を広げている。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
景気低迷に伴う先行き不透明感により、全体的に資金需要が低迷する中、一定の利用がなされている。 (平成27年12月末の保証料補給件数 90件)		中小企業育成資金（企業の子育て奨励分）が年々増加傾向にあるため、28年度も保証料補給に支障がでることのないよう、十分な額を確保する（増額）。 また、設備更新を対象とした保証料補給は廃止する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	